

SHINSHIROKOKEZANMAI

HKM48

鳳来寺山自然科学博物館  
KOKE MAP48

-博物館で48種のコケを探そう！-

# HKM48

## (鳳来寺山自然科学博物館 KOKE MAP48)

### はじめに

コケ植物は、菌類でもなく、ウメノキゴケのような地衣類でもない「植物」です。コケは水や養分を運ぶための管の束である維管束がない「非維管束植物」であるため、種子植物、シダ類といった維管束がみられる「維管束植物」と区別することができます。

コケは大きく「セン類」「タイ類」「ツノゴケ類」の3つの種類に分けることができます。日本ではセン類は1,200種類以上、タイ類650種類以上、ツノゴケ類は20種程度が知られています。

コケは小さくて目立たないですが、ルーペで観察すると、形の多様性と美しさに心を奪われます。土の上、樹木や岩石などに生えており、海中以外であれば世界中のどの場所からも見つかる可能性があります。鳳来寺山自然科学博物館の敷地内からも50種以上のコケを確認しており、そのうちの48種を紹介します。このMAPを参考にしながら、博物館でコケを観察してみてください。

### 見方 (p. 2~7)

p. 1右側のMAPに示された①～⑦の番号が表示されています。その種類がみられる大まかな位置を示しています。

#### 種類の写真

セン

セン類を「セン」、  
タイ類を「タイ」と  
表示しています。  
ツノゴケ類は博物  
館の敷地内で見  
つかっていません。

岩木土

岩や石(コンクリー  
トも含む)に生え  
ている場合は「岩」、  
樹木や腐木の場合  
は「木」、土の場合  
は「土」と表示して  
います。ただし、必  
ずしも表示したもの  
に生えるとは限りま  
せん。

2 7

p. 1



### [※注意]

1. コケに夢中になりすぎないようにしてください。車や人の通行の邪魔にならないか、周囲の状況を確認しながら活動してください。
2. 音為川沿いの斜面は川に落下する危険があるため、絶対に入らないようにしてください。

# 鳳来寺山自然科学博物館で 苔を探してみよう

セン

岩木

3 4

## 1. イワイトゴケ

キヌイトゴケの仲間。  
細い糸状で、コモチイト  
ゴケに似るが、乾くと  
葉っぱが茎に圧着する。

セン

岩木

7

## 2. イワイトゴケモドキ

キヌイトゴケの仲間。  
イワイトゴケにそっくり  
だが、葉っぱの先がとが  
る。

セン

土

3

## 3. イワマホウオウゴケ

ホウオウゴケの仲間。  
葉が左右に規則正しく2  
列に並び、鳳凰の尾のよ  
うな形をする。葉の縁の  
細胞の層が厚い。

セン

岩木

3

## 4. エゾキヌタゴケ

キヌタゴケの仲間。  
茎の先がたまに長く伸び  
ることがある。顕微鏡で  
みると、葉っぱの縁の下  
の方にたくさんの小型の  
細胞が観察できる。

セン

土

5

## 5. エゾスナゴケ

スナゴケの仲間。  
少しだけ背が高い黄緑色  
のコケ。水をかけると星  
型に開いてとてもきれい。

タイ

7

## 6. オオウロコゴケ

ウロコゴケの仲間。  
茎の左右には、葉がかさ  
なるようにきれいに並ん  
でつくので、全体が魚の  
うろこのように見える。

タイ

1

## 7. オオジャゴケ

ジャゴケの仲間。  
葉はヘビのうろこのよ  
うに見え、わずかにマツタ  
ケに似たにおいがする。

セン

岩土

6

## 8. オオベニハイゴケ

ハイゴケの仲間。  
ハイゴケに似るが、葉っ  
ぱの幅がハイゴケより広  
く、植物体の一部が赤褐  
色になることが多い。

苔に水をかけよう

タイ



岩木

タイ



2

岩木

### 9. カラヤステゴケ

ヤステゴケの仲間。  
阪急電車のような赤茶色  
で、木の幹の染みのよう  
な小さなコケ。

セン



岩

7

### 11. キダチヒダゴケ

トランオゴケの仲間。  
大型のコケで、一部の茎  
が立ち上がって、樹状に  
なる。葉っぱの先に大き  
なトゲトゲがある。

セン



1 4 5

岩土

### 12. ギンゴケ

ハリガネゴケの仲間。  
葉っぱは古くなると上半  
分の細胞から緑色をした  
葉緑体がなくなり、白っ  
ぽくなる。

タイ



岩土

7

セン



2 5 7

岩

### 13. クビレケビラゴケ

ケビラゴケの仲間。  
葉っぱは橢円形で、縁に  
丸い無性芽（クローン繁  
殖に用いるもの）をたく  
さんつける。

タイ



2

岩土

### 15. ケゼニゴケ

家のまわりの湿った地面  
にみられる。葉っぱの縁  
には毛が生えている。ゼ  
ニゴケの仲間に似ている  
が、違う仲間である。

タイ



4 7

岩木

### 16. コクサリゴケ

クサリゴケの仲間。  
1~3mmほど非常に小さ  
い糸状のコケで、慣れな  
いと見つけれない。葉っ  
ぱにポケットがある。

# 鳳来寺山自然科学博物館で ルートで苔を覗こう

セン



2 5 6 岩木土  
17. コバノチョウチンゴケ

暗緑色の植物体をもつが、春先に伸びる枝は新緑でとても美しい。伸びはじめた枝は、どんどん長くんなって動物の尾のようになる。

セン



2 5 木  
18. コモチイトゴケ

木の幹に細い糸のように伸びて生える。胞子のでる袋（さく）をつけることはほとんどない。

セン



2 岩土  
19. サクラジマホウオウゴケ

ホウオウゴケの仲間。  
乾くと縮れやすい。光学顕微鏡で確認すると、葉っぱの付け根に大きなコブを観察できる。

セン



2 4 木  
20. サヤゴケ

胞子のでる袋（さく）を支える柄にサヤがあるので、サヤゴケ。

タイ



1 岩土  
21. ジンガサゴケ

陣笠（じんがさ）のような形をした雌器托（しきたく）が生えることから名づけられた。

セン



3 岩木  
22. スズゴケ

這う茎と、斜めに立つ茎がある。胞子のでる袋（さく）を鈴なりにつける。

セン



3 岩木  
23. タチヒダゴケ

タチヒダゴケの仲間。  
こじんまりと生え、葉っぱの真ん中にまん丸い胞子のでる袋（さく）がある。

タイ



2 木  
24. チヂミカヤゴケ

クラマゴケモドキの仲間。  
葉っぱが大きくなっています。  
しおれているように見える。  
メスはちぢれが強く、  
オスは弱い。

# 苔と友達になろう

セン

岩木土

7

## 25. ツクシナギゴケ

葉っぱは先がとがり、縁にはトゲが発達する。顕微鏡で確認すると、葉っぱの中央の筋には背面に小さなトゲがある。

1 3 5

セン

岩土

## 29. ノミハニワゴケ

ウスグロゴケの仲間。  
葉っぱは小さく細く、細い茎が這う。春先に胞子のできる袋（さく）を支える柄が赤い。

セン

岩土

1 2 5

## 26. ツボゴケ

ツボゴケの仲間。  
葉っぱは透明感にあふれ、みずみずしい。違う茎と立つ茎をもつ。葉っぱの上半部に鋭いトゲがある。

7

## 27. トヤマシノブゴケ

シノブゴケの仲間。  
細かく分かれた纖細な葉っぱがシダの仲間のシノブの葉っぱに似ている。

セン

岩土

3 5

## 28. ナガバチヂレゴケ

チヂレゴケの仲間。  
植物体は暗い緑色。葉は細く、乾くと強く巻く。

セン

岩

セン

岩土

1 3 5

セン

岩木土

2 4 5 7

## 30. ハイゴケ

ハイゴケの仲間。  
地面を這っているのでハイゴケ。葉っぱの先が鎌のようく丸まっているのでモコモコして見える。

セン

岩

1 5 7

## 31. ハマキゴケ

センボンゴケの仲間。  
乾燥すると葉がくるくる巻いて、葉巻のように見える。葉の裏側が金色に輝くように見える。

セン

岩

5

## 32. ヒジキゴケ

日当たりの良い場所でみられる。葉っぱの先の細胞の葉緑体がなく、白くなる。ヒジキではないから、食べても美味しい。

タイ



3 7

岩木

### 33. ヒメアカヤスデゴケ

ヤスデゴケの仲間。  
丸い葉を規則正しくつけた姿がヤスデに似る。カラヤスデゴケより小さく、葉っぱが落ちやすい。

セン



5 7

岩

### 34. ヒメカガミゴケ

カガミゴケの仲間。  
「鏡」は少し誇張的で、葉っぱに少し光沢がある程度。葉っぱの先は細くなる。

セン



1 5

土

### 35. ヒメタチゴケ

スギゴケの仲間。  
小形で、葉っぱに弱い横ジワがある。葉っぱの縁には鋭いトゲが発達する。

タイ



3 7

岩木

### 36. ヒメサカゴケ

葉っぱの縁にたくさんの無性芽（クローン繁殖に用いるもの）をたくさんつける。指でこすると、さわやかな香りがする。

セン



7

岩

セン



3 4 7

岩木

### 37. ヒモヒツジゴケ

アオギヌゴケの仲間。  
この仲間は光学顕微鏡を使用しても同定がびっくりするほど難しい。光沢があり、青い絹織物のよう。

タイ



3 4 7

岩木

### 38. ヒロハツヤゴケ

ツヤゴケの仲間。  
つやつやした黄緑色の葉っぱがマット状に広がる。



4 5

岩土

### 39. フルノコゴケ

温ると、古いノコギリの歯のように葉っぱがギザギザするようになるのでフルノコゴケ。

ハリガネゴケの仲間。  
道端でよく見かけるコケ。  
葉っぱの先が線状に長くとがる。

セン

木土



セン

2 7

岩土



セン

木

3

### 43. マキハキヌゴケ

キヌゴケの仲間。

葉っぱに光沢があり、先が長くとがるため、葉っぱの先が鎌のよう曲がってみえる。



タイ

7

### 44. ミドリヤスデゴケ

ヤスデゴケの仲間。

カラヤスデゴケよりも大型で緑色になることがある。湿ると葉っぱが起き上がり、フルノコゴケに似る。

セン



セン

岩木



セン

岩木



45.

### ミノゴケ

茎は長く木の幹を這う。乾燥すると葉っぱは強く丸まり、ボール状のかたまりになる。蓑（みの）のように見える帽をつけることがある。

岩木

### 46. ユミゴケ

葉っぱは針のよう長く伸び、乾くと弓形に曲がる。葉っぱが落ちやすく、茎の下の方は葉っぱがついていない裸になっていることが多い。



土

### 47. ユミダイゴケ

シッポゴケの仲間。  
日当たりのよい砂混じりの湿った土の上でみられる。春先に長い首をもつた細長い胞子の袋（さく）をつける。

6

岩木

### 48. ラセンゴケ

キヌイトゴケの仲間。  
茎の先端がムチ状に伸びる。光学顕微鏡で確認すると、葉っぱの中央にある筋の上部が蛇行するため、「ラセン」という名がついた。